

見通し 品種で価格にはらぎ

アルミ原料扱い量は、前年比で25〜30%減少した。同様に大阪非鉄金属商工協同組合は同30〜35%、東海非鉄リサイクル協同組合は30〜

35%それぞれ減少を余儀なくされたようだ。国内発生の低迷があらためて浮き彫りになっ

た。同コンテストは、事業系ごみの減量を目的に、主として中小企業

「発生簿が続く状況に下、産廃業者、鉄スクラップ、古紙回収業者など異業種の参入が相

「当面のアルミ原料相場はアルミ新塊価格

は季節要因に伴う発生増で需給バランスは緩和し、市況も軟化する

非鉄スクラップ問屋

の橋本アルミ(本社大阪市浪速区桜川1-19、橋本寿郎社長)

橋本アルミ

市が主催する事業者リサイクルコンテストの「おおさか3Rリーダー事業者賞」を受賞し

3R活動で自治体表彰

搬出入セット化、勉強会など



橋本取締役

「本業外でもリサイクル」

が自主的に取り組んでいるごみ減量・リサイクルの実例を募集し、取り組みの独創性や経済性などが優れた企業を表彰する。今回は10事業者と2グループから応募があった。同社は、事業系ごみ

の事前選別や納品・引き取りのセット化、CQ削減を目標に、社内月例勉強会で実行案を検討。納入業者が古紙業者の場合、自社発生の紙ごみを帰る荷

用されていた木枠や袋を出荷時に再使用している点が評価された。受賞の一報を受けて、橋本健一郎取締役は「リサイクル事業者

廃バッテリー相場一服

韓国筋の需給は依然タイト

関東地区の廃バッテリー相場が落ち着きを見ている。不需用期に入り、相場を高値誘導していた韓国筋の引き合いも弱まっている

自動車のバッテリー極板の原料になる廃バッテリーは、需要家である二次精錬メーカー買値が足元キロ50〜60円

き合いが、旧正月前に弱まったまま戻らない(大手原料扱い筋)ことが大きい。足元は冬季のバッテリー積み替え需要が終

ただ、廃バッテリーの発生環境が改善したわけではなく、取り扱い筋が在庫を積み増せる状況ではない。冬季のバッテリー積み替えに伴う発生も、期待され

は、不足が解消されたわけではなく需給は緩んでい

高値でも60円台前半まで2100〜2200円

無理して高値を追わな

このほど開催した入

アルミ・スクラップ動向

3月第4週のアルミ原料相場は、ウワ物スクラップがキロ2円、使用済みアルミ缶(UBC)が5円上伸した。二次合金メーカー購入価格は新切れで172〜177円、合金削り粉で127〜132円どころ。指標の一つとなるロンドン金属取引所(LME)のアルミ相場は現地24日でト

2〜5円上伸(後場買値)と堅調地合いで推移。問屋業者の中には従来の月前・後半の値決め方式を改め、